

平成24年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業

いわて文化支援ネットワーク通信

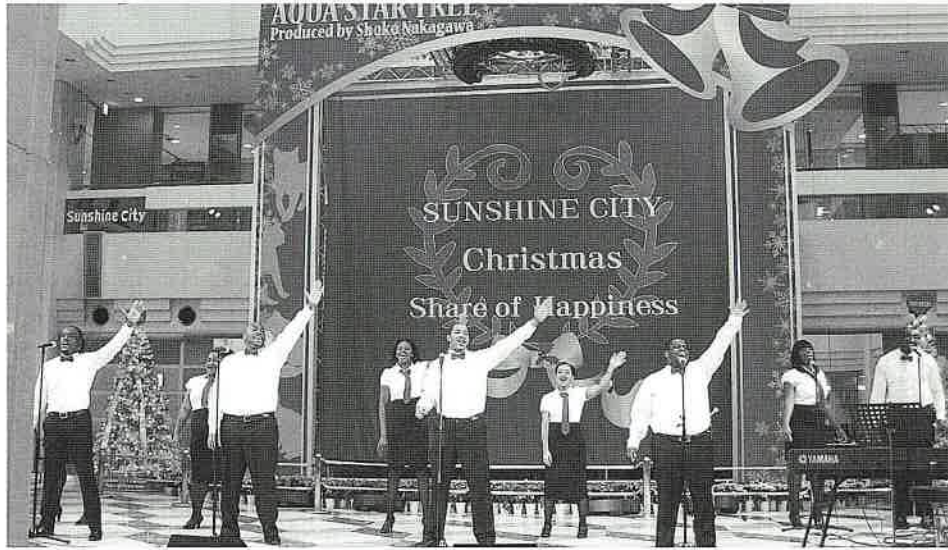
アシスト・なう

5号

発行日
平成24年12月1日

発行:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター / 印刷:杜陵高速印刷株式会社

■1面 太平洋の橋コンサート ■2・3面 熟議vol.2in陸前高田 ■4面 12月イベント案内、IASC事務所便り



ハーレムクワイヤ報告公演東京池袋サンシャインシティ噴水の広場

米国ニューヨークの合唱団「ハーレムクワイヤ」による「太平洋の橋コンサート・ツアー」(9・11風の環)コンサート、いわてフィルハーモニー、いわて文化支援ネットワーク主催/岩手県文化振興基金助成事業)は、11月23日の釜石市宝樹寺を皮切りに岩手県内3カ所で開催されました。
26日最終日は東京・池袋サンシャインシティで被災地慰霊に寄せる歌声を披露しました。

BOYS & GIRLS CHOIR OF HARLEM ALUMNI ENSEMBLE

太平洋の橋コンサート

「新渡戸稲造生誕150周年記念」Bridge Across the Pacific Concert



コンサートのもようは、連日岩手日報に大きく報じられました

ウィーン合唱団と並び称される高いレベルと共に、勇気と誇りを歌い上げる魂のハーモニーは釜石、陸前高田、岩泉の会場に詰めかけた多くの来場者に笑みと感動をもって迎えられました。
コンサートでは、黒人霊歌やゴスペル、9・11米中核同時テロ後に作られた「アイ・ニード・ユー・サバイブ(あなたに生きていてほしい)」、日本語の「北国の春」などが披露されました。



様々な立場から、震災後の文化活動について、思いや課題が語られ、共有できた時間は貴重でした。その中でも民族芸能の「宝庫」と言われる岩手、三陸沿岸が震災前から抱えていたであろう、過疎化による後継者不足の問題があります。

今回の熟議では、震災により存亡の危機に立つ「うごく七夕祭り」の復活に心を寄せる若者の発言から、民族芸能や祭りが、これまで地域にもたらした役割を再認識しました。祭りはコミュニティの結束であり祈りであり、文化です。今ゼロからのスタートを切り、



熟議vol.2in陸前高田

夏に開催した第一回目の熟議では、被災地のチャリティー公演や、文化施設の在り方について議論されました。それから4カ月が経ち、被災地はどのような現状にあるのでしょうか。文化の復興は進んでいるのでしょうか。

11月18日(日)、みぞれがまじる強風の中、第2回熟議を、陸前高田で被災し現在は仮設店舗で営業再開をしている「ジャズタイム・ジョニー」で開催しました。「防風林の松林や街並みが流失し、海からの風が直接吹いてくるんです」というオーナーの言葉に、仮設の不安な暮らしを垣間見る思いがしました。

2回目となる今回は「被災地からの文化復興を考える」をテーマに、6人のコメンテーターを迎え、飛び入り参加も大歓迎。地元で活躍している詩人、画家、文化ボランティア、民族芸能の復興を願う若者も交じり、5時間の熟議が繰り広げられました。



コーディネーター：坂田裕一
司会：東海林千秋・山口ゆかり



「目に見える復興が後輩たちのいい見本になる」という若者の動きが、新たなコミュニティを紡ぎ直していくことを確信し、参加者全員でエールを送りました。

最後に、第2回熟議に会場を提供して下さった「ジャズタイム・ジョニー」の照井由紀子さんに感謝申し上げます。



水野 美砂さん(盛岡市)
(株)アクト・ディヴァイス取締役

第一回目から太鼓フェスティバルの照明・音響・舞台設営で関わらせていただいています。震災後、イベント中止になった時期は、被災地の仮設を回ってボランティア活動をさせていただきました。地域に根差している方たちが中心になってイベント企画されるのを応援していきたいと思っています。そしてできれば早く芸術に対して対価を払って企画が出来るような状況になっていけばいいと思っています。



佐々木 武晴さん(陸前高田市)
陸前高田市役所商工観光課

震災後に市職員になり、いきなり全国太鼓フェスティバルの事務局を任せられました。

今年のテーマは全国、全世界からご支援を頂いたので、それに対してありがたい気持ちを伝えたい。しかし何も無い状態からの再スタートだったので、実行委員会形式で原点に戻ってやろうということになりました。新しいメンバーも増え、やったことの意味はあったと思います。



佐藤 淳文さん(大船渡市)
ヨツバ楽器経営

50周年目前の震災で、店の在庫はすべて大船渡湾の永久倉庫行きです。一応今は形ばかり再開しました。時間が経つてくると気晴らしに楽器を求める客も増えてきました。みんな震災前の日常に戻りたいんですよね。音楽でなくてもいい。手を動かすちょっとした作業があればいい。と。イベントも多いが、自己満足を求められる方、結果を求められる方もいて、現地スタッフや一部動員された観客の中には疲労を覚える者もいる。愉快的な話ばかりじゃないと苦言を呈したい。



遠野 芳明さん(陸前高田市)
陸前高田災害FMスタッフ

別団体活動でピアノ支援の仲介等もしていますが、今の実情では、騒音など仮設住民間のトラブルも懸念されます。練習場所の確保が急迫する課題です。また支援物資もマッチングやコーディネートを上手くやらないと、支援の格差が生まれたり、片やそれを販売している地元商店の死活問題にもなっています。

遠くから自腹でいらして学習指導や楽器演奏指導などの支援をしてくださる方がおられ、大変感謝されています。

今後はそのような「支援する方を支援する」そうした仕組みを作ることが出来ればと考えています。

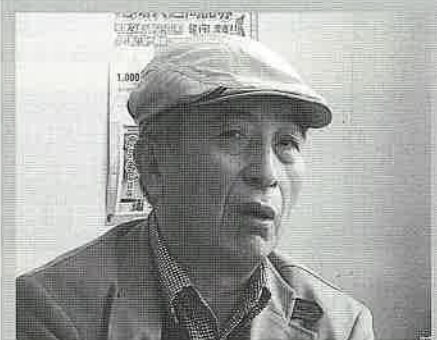


田村 尚子さん(陸前高田市)
田村ピアノ教室主宰

震災後はショックで何もやる気になれませんでした。けれど子どもにだけは普通の生活をさせたいという親御さんの声に押しされ、仮設でピアノ教室を再開しました。

今年の秋には発表会も復活させました。子どもたちに震災で亡くなった家族や友人・知人への追悼と気持ちを音に込めて空に向けて届けたいねって、無謀にも屋外で開催しました。

子どもたちも幾分心の余裕が出てきたように思いますが、仮設住宅での練習はなかなか難しい問題があります。



新田 満さん(北上市)
NPO法人芸術工房理事長

演劇活動に取り組む傍ら、大船渡のリアスホールの実態調査をしました。聞き取り調査から見えてきたことは、支援を目的とした無料公演が集中し、ありがたい反面、職員は現在も尚、膨大な量の仕事に追われています。しかし、私は一過性に終わらない、継続的なプロジェクトで芸術性の高い本物の芸術に触れる機会を作りたいと願っています。また社会に落ち着きに戻ったら、正当な対価を得て活動する気持ちが生まれてほしいと思います。子どもの心のケアも気になる場所ですが、アートによる心のケアが成功している事例もあります。陸前高田のみならず、被災地全体の意識を共有して緊急に取り組まなければならない問題だと思います。地域コミュニティを再生し、地域住民が元気になる上でも民族芸能や祭りの復活は大きな役割を果たしていると思います。

熟議vol.3 終了!

師走を迎え
宮古マリンコープ

DORA も多くの来店者で
賑わっていました。12月2日

(日)、「被災地からの文化復興を考
える」をテーマに第3回目の熟議が開
催されました。

7人のコメンテーターとフロアとの
白熱した議論のもようは来年1月号に
掲載しますので、ご期待ください!!



IASC事務所便り

盛岡市内も雪が積もって、冬
の訪れを感じさせます。
7日に大きな地震が再び発生
しました。事務室でも揺れの直
後は騒然としていましたが、大
きな被害もなく安心しました。
年末となり何かと慌ただし
さを感じる日々が続きます
が、災害に対する心構えだけ
はしっかりとしていきたいもの
です。(稲邊)



朗読劇「12の贈り物」九戸公演 「ツツジとドクロ」(石野晶:作)

日時：12月15日(土) 14時開演 (13時30分開場)

入場料：無料

会場：九戸村公民館

問合せ：いわてアートサポートセンター

019-604-9020

編集後記

新たな事業展開のため、被災地の小学校を
訪問しました。コーディネーターのこうした
丁寧な関わりが信頼を紡ぎ、成果をもたらし
ます。震災復興に向けて、今まさにコディ
ネーター力が問われています。言葉ではな
なか仕事内容が見えてこないものを、「はは
あ、要は舞台監督なのだ」と思うのが私な
りの理解の仕方です。「いい舞台を作りたいよ
ね」というスタッフやキャストの思いのナビ
ゲーターでしょうか。

こうして陰の苦勞を経て形づくられる事業
をこれからもどんどん発信していきます。
(U)



いわて文化支援ネットワーク

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-20永卯ビル3F

NPO法人いわてアートサポートセンター内

☎019-604-9020

E-mail: arts@ictnet.ne.jp

http://ibsn.web.fc2.com/

●支援金振込先 (振り込み手数料は負担願います)

■みずほ銀行 盛岡支店 (普) 1190698*

■ゆうちょ銀行 店名【八三八】(普) 0808732*

※いずれも口座名：いわて文化支援ネットワーク

■岩手銀行 中ノ橋支店 (普) 2044173

口座名：いわてアートサポートセンター文化支援 代表 瀬川君雄

現在の支援金総額 **8,042,327円** (H24.11.28現在)

ご支援、ご協力ありがとうございます。